

令和4年6月に、米原市は国から「脱炭素先行地域」に選定されました。現在、市は県と市内に技術的な中核となる中央研究所を持つヤンマーホールディングス株式会社と協力し、米原駅周辺にある各施設の電力をまかない、再生可能エネルギーの地産地消を実現するため、米原駅周辺や耕作放棄地に太陽光発電設備の設置を進めています。

こうした先進的な取り組みをはじめ、脱炭素社会の実現に向けた様々な施策を同時に進めることで、持続可能な未来社会を創るだけでなく、環境を大切にしている取り組みがまちの価値を高め、移住者を呼び込むことにも繋がると期待しています。

事業全体のイメージ



ヤンマー中央研究所

令和5年12月、ヤンマー中央研究所の屋上に太陽光発電設備の設置が完了しました。

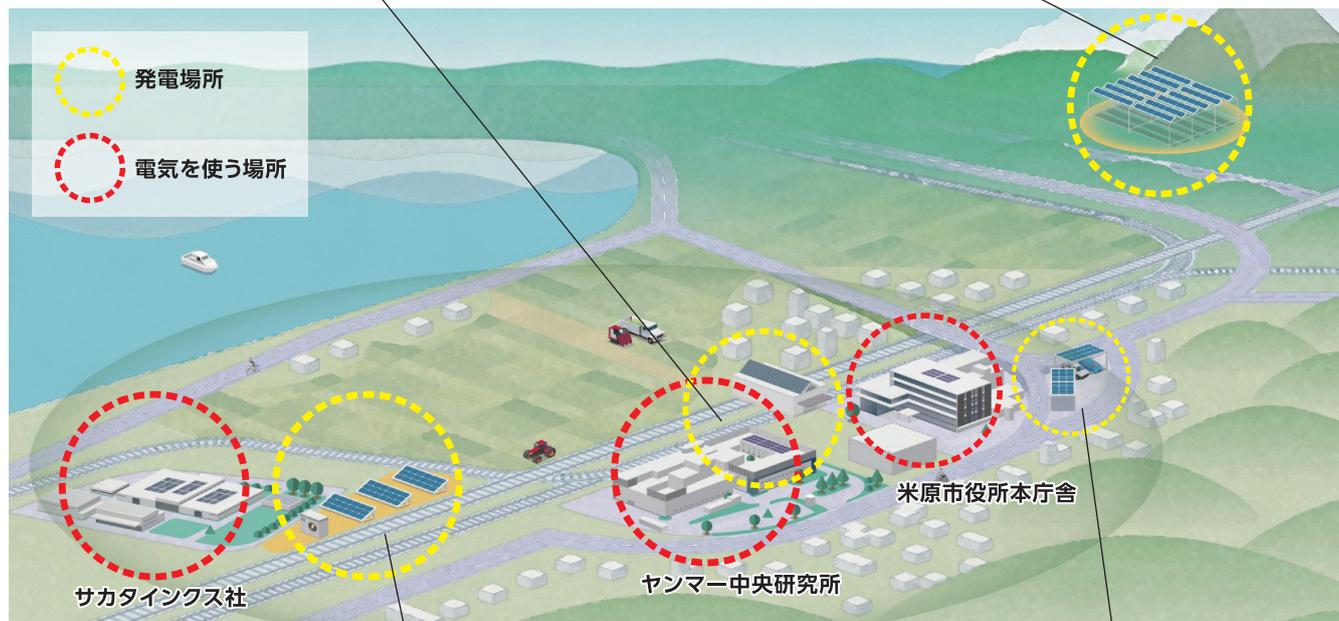


本市と脱炭素事業で連携する千葉県
匝瑳市の営農型太陽光発電設備

営農型太陽光発電設備の設置

(令和8年完成予定)

小泉地先と弥高地先の耕作放棄地に、営農型太陽光発電設備の設置を予定しています。



梅ヶ原地先市有地等に太陽光発電設備等を設置予定!

(令和7年12月完成予定)



太陽光発電設備のほか、蓄電池も設置し、災害時には非常用電源として利用します。休日の昼間を中心に発生する余剰分の電力は、隣接するサカタインクス社に供給する予定です。

市役所本庁舎 公用車駐車場



令和6年12月に完成し、災害時には非常用電源として利用されます。

※今後、米原駅東口前に整備予定の滋賀県東北部工業技術センターにも電力供給を予定しています。